

目次

I 第2期中原区区民会議について・・・ 2

- 1 中原区区民会議とは
- 2 中原区区民会議の審議の流れ
- 3 専門部会の役割
 - (1) 運営部会
 - (2) 協働推進事業検討部会
 - (3) 課題調査部会

II 検討テーマ（地域課題）の選定について・・・ 9

- 1 検討テーマの選定について
- 2 検討テーマの選定の審議について
 - (1) 検討テーマの審議
 - (2) 第2期中原区区民会議検討テーマ委員提案一覧表

III 検討テーマ（地域課題）の審議と取り組みについて・・・ 12

- 1 検討テーマ①「地域で取り組む放置自転車問題」
 - (1) 現状及び課題の把握
 - (2) 課題解決に向けた取り組みの検討
 - (3) 課題解決に向けた取り組み事項
 - (4) 地域の取り組み事例
- 2 検討テーマ②「これからの地域コミュニティづくりを考える」
 - (1) 現状及び課題の把握
 - (2) 課題解決に向けた取り組みの検討

資料編・・・ 30

- 平成20年度中原区区民会議開催の記録
- 委員・参与名簿

e

I. 第2期中原区区民会議について

- 1. 中原区区民会議とは
- 2. 中原区区民会議の審議の流れ
- 3. 専門部会の役割（運営部会・協働推進事業検討部会・課題調査部会）

1

中原区区民会議とは

川崎市では、市民の参加と協働によって暮らしやすい地域社会を築いていこうという考えのもと「川崎市自治基本条例」を制定（平成17年4月1日施行）しました。区民会議は、この条例が目指している「市民自治によるまちづくり」を進めるために平成18年4月から各区に設置されて、地域の課題を区民が主体となって地域で解決するためにどうすればよいかということ話し合う会議です。

中原区区民会議は、18～19年度の1期

2年間で5つのテーマについて議論を行い、地域や区民が主体となった課題解決に向けた取り組みを進めてきました。平成20年度に2期目を迎えて新たな体制でスタートした中原区区民会議は、第1期の取り組みや成果を活かして、中原区に住む人々が暮らしやすく、人々の笑顔があふれるまちづくりをめざして、地域の課題解決に向けた話し合いを行います。

2

中原区区民会議の審議の流れ

（1）検討テーマの選定

中原区区民会議で調査審議する検討テーマは、地域が抱えている様々な課題の中から、緊急性や重要性を勘案して運営部会で決定します。

（2）検討テーマに関する現状及び課題の把握

検討テーマとなった事項について、地域で具体的に行われている取り組み等を手掛かりに、そのテーマの現状や克服すべき課題等の調査を行い、検討用資料等を作成します。

（3）区民会議における審議・検討

現状や課題の調査や資料などに基づいて、課題の解決策や地域での取り組みのあり方などを検討します。

（4）地域社会での取り組み

区民会議での検討を踏まえて、区民会議委員及び区役所は地域社会での課題解決に向けた取り組みを推進します。

（5）市長及び区長への報告

区民会議の1年間の活動結果について、市長および区長に報告します。

検討テーマの審議の流れ

- ▶ 議事進行を行う
藤枝委員長（中）、
鈴木副委員長（左）、
竹井副委員長（右）、



区民会議（全体会議）

【審議事項】

- ・ 検討テーマの現状把握
- ・ 検討テーマの解決に取り組む地域活動の紹介（ビデオ資料等）
- ・ 検討テーマの解決に向けた意見交換

区民会議（全体会議）

【審議事項】

- ・ 課題調査部会の審議報告
- ・ 検討テーマの解決に向けた取り組みを提案
 - ①区民会議（委員）の取り組み
 - ②地域での取り組み
 - ③行政（区役所）での取り組み

運営部会

【審議事項】

- ・ 検討テーマを決定
- ・ 検討テーマの地域での活動事例の検討

運営部会

【審議事項】

- ・ 課題調査部会の審議報告
- ・ 区民会議運営検討

課題調査部会

【審議事項】

- ・ 検討テーマの解決に向けた意見整理
- ・ 検討テーマの解決に向けた取り組みを検討



1. 第2期中原区区民会議について

3 専門部会の役割



▲ 課題調査部会より

専門部会は、区民会議の調査審議をより専門的また機動的に行う必要がある場合などに設置し、区民会議から付託される事案の調査検討を行うものです。

第2期中原区区民会議では、幹事会的な役割を持つ部会である「運営部会」と区の協働推進事業の検証を行う「協働推進事業検討部会」を第1期に引き続き設置し、さらに、区民会議での議論をより効果的に解決に向けた取り組みに発展させるための補完的な役割を果たす専門部会として「課題調査部会」を新たに設置しています。

中原区区民会議専門部会

- (1) 運営部会
- (2) 協働推進事業検討部会
- (3) 課題調査部会

(1) 運営部会

■ 設置目的

区民会議の円滑な運営を図るため、区民会議で取り組む地域課題を決定し、会議の具体的な運営の在り方等について調整を行うことを目的とします。

■ 構成員

委員長及び副委員長（2名）を含め6名程度

■ 開催時期

区民会議の開催時期に合わせて、適宜開催します。

■ 主な審議内容

- ・ 区民会議で取り組む地域課題について検討を行います
- ・ 次回区民会議次第及び運営方法について検討を行います
- ・ 報告書の取りまとめ及び広報について検討を行います



区民会議メモ①

「区民会議だより」について

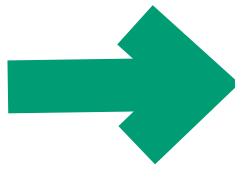
第2期中原区区民会議では、区民会議の審議や取り組みの様子を広く市民に伝えるために広報誌『なかはら区民会議だより』を発行しています。この広報誌は、年4回の区民会議開催にあわせて発行し、中原区役所企画課窓口などでの配布のほか、区内の町内会・自治会を通じて各戸に回覧しています。

<運営部会の審議の流れ>

運営部会

【審議事項】

- ・ 区民会議で審議する検討テーマを決定
- ・ 区民会議の運営や広報について検討



運営部会の審議結果を区民会議に報告する

区民会議

【審議事項】

- ・ 検討テーマの現状把握
- ・ 検討テーマの解決に向けた意見交換



1. 第2期中原区区民会議について

(2) 協働推進事業検討部会

■ 設置目的

中原区協働推進事業について、事業の実施結果と実施計画などに対して、区民会議としての評価を行うことを目的としています。

■ 構成員

6名程度

■ 開催時期

7月および9月頃（年2回開催）

■ 主な審議内容

- ・中原区協働推進事業の実施結果に対して、区民会議としての評価を行います
- ・次年度の中原区協働推進事業計画に対して、区民会議としての意見を述べます

▶ 協働推進事業

中原区音楽ライブ In Unity

▼ 協働推進事業：緑のカーテン



▲ 区の協働推進事業について、評価を行います

< 協働推進事業検討部会の審議の流れ >

中原区協働推進事業の実施

区民会議

協働推進事業検討部会の報告を受ける

運営部会の審議結果を
区民会議に報告する

協働推進事業検討部会

【審議事項】

中原区協働推進事業の実施結果を踏まえ、各事業の評価を行う。協働推進事業検討部会での審議内容は区民会議で報告する。



区民会議メモ②



「中原区協働推進事業」について

■ 協働推進事業の目的及び概要

川崎市では平成17年4月1日から自治基本条例を施行して、区民会議をはじめとして、「地域の課題を自ら発見し解決できる市民協働拠点」を目指して、区役所機能の強化に取り組んでいます。区役所は地域における課題を的確に把握して、区民の参加と協働により、迅速な課題解決に努めることが求められており、そうした課題解決に必要な事業等を「協働推進事業」として実施しています。

■ 協働推進事業予算

各区原則5,500万円（平成20年度）

■ 協働推進事業の対象事業

- (1) 地域の特性を生かした区づくりを、区と区民が協働して推進する事業
- (2) 地域の身近な課題や緊急的なニーズに、区が主体的かつ迅速に対応し、解決を図る事業
- (3) 複数の分野にまたがる地域社会の課題を、区が地域の視点から解決するため、区自らの裁量・創意工夫により総合的・横断的に判断し、効率的・効果的に執行する事業
- (4) その他、協働推進事業の目的を達成するために必要とする事業

■ 平成19年度中原区的主要な協働推進事業

事業名	事業概要	予算額（千円）
「区民の手で花いっぱい中原」事業	公募による区民で組織された花クラブ実行委員会、区役所敷地内、JR武蔵小杉北口花壇等に草花を植栽し維持管理を行う。	1,520
区役所コンサート	区役所5階会議室を会場としたコンサートを開催する。年6回予定。	1,895
中原区音楽ライブ	公募区民による自主企画・運営によりアマチュアバンドやダンスグループ等が出演する音楽ライブを開催する。	1,800
中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」	区内在住在勤の小学4年生以上を対象に、3km、5km、10kmの3種目によるロードレースを開催する。	400
青色回転灯自主防犯パトロール推進事業	自主防犯パトロールに必要な青色回転灯やマグネットステッカーを購入し、要綱整備を行って備品を貸与しながら活動を支援する。	96
中原区子育て支援推進事業	区内各地域での子育てサロン及び講演会、子育てグループとの交流会見守り声かけ活動、普及啓発活動を実施する。	2,000
地域福祉講座事業	「中原区地域福祉計画」推進の一環として、身近な地域の「場の確保」と「人を育てる」ことを目指して区内各地区で講座を開き地域の福祉活動に結びつくよう支援していく。	388

Ⅰ．第2期中原区区民会議について

(3) 課題調査部会

■ 設置目的

区民会議において検討された地域課題について、課題解決に向けた取り組みを効果的に行うために、地域課題に関する必要な情報収集や調査を行うなど、区民会議の審議の補完する役割を担うことを目的とします。

■ 構成員

6名程度

※構成員については、検討テーマの内容によって、適宜、部会委員を選出するものとします。

■ 開催時期

区民会議の開催時期に合わせて適宜開催(年間2～3回程度)します。



▲ 第1回課題調査部会より
町内会での活動を報告する吉房副部会長

■ 主な審議内容

- ・ 区民会議で取り組む地域課題について検証や調査を行います
- ・ 区民会議における委員の意見を整理して、課題解決に向けた具体的な取り組みの検討を行います

<課題調査部会の審議の流れ>

区民会議

【審議事項】

- ・ 検討テーマの現状把握(ゲスト講演及びビデオ資料等による)
- ・ 検討テーマの解決に向けた意見交換

区民会議

【審議事項】

- ・ 課題調査部会の審議報告を受け、区民会議として検討テーマの解決に向けた取り組みの提案を行う

課題調査部会

【審査事項】

- ・ 区民会議における意見整理
- ・ 検討テーマについて検証・調査
- ・ 検討テーマの解決に向けた取り組みを検討



Ⅱ. 検討テーマ（地域課題）の選定について

- 1. 検討テーマの選定について
- 2. 検討テーマ選定の審議について

1

検討テーマの選定について

区民会議の主要な役割は、区における地域社会の課題を地域で解決を図るための方針及び方策についての調査審議を行うことです。

中原区区民会議では会議で調査審議する地域が抱えている様々な課題（検討テーマ）を、

区民会議委員が日々の活動を通して検討する必要があると考えていること、あるいは区役所が業務を通じて把握した課題、あるいは区民から寄せられた課題の中から、緊急性や重要性を勘案して運営部会で決定しています。

2

検討テーマ選定の審議について

（1）検討テーマの審議

平成20年7月16日に開催された第1回区民会議では、第2期中原区区民会議において調査審議すべき「検討テーマ」について、話し合いを行いました。会議では、全委員から検討したい地域課題について意見や提案がありました。

委員の意見や提案の中でも多かったのが9名の委員が挙げた放置自転車問題、このほか、委員の提案が多かったテーマは、地域の防災や防犯活動、子どもの健全育成、子育て支援、環境問題、小杉駅周辺の再開発への対応などでした。

【主な意見】

- 駅周辺の駐輪の問題を取り上げたい。歩道上に自転車が並んでいて、障害者の方が車いすで通るのも困難な状態になっている。
- 環境問題に継続して取り組みたい。
- 小杉駅周辺には高層ビルに対応した災害時の防災対策や子育て支援も必要となってくる。
- 地域の高齢者や隣近所による子どもの健全育成につなげていく。
- 犯罪を予防し、安全・安心のまちづくりのために、学校や地域との連携を密にする活動が引き続き必要である。
- 小杉駅周辺再開発の課題をどのようにしたらよりよい方向に持っていけるか。
- ごみやたばこの吸い殻のほい捨てをなくすなど小さなモラルの向上をすることから、放置自転車を少なくする運動を広げていきたい。
- 多摩川を発信の場として、子どもの教育、環境、歴史、文化、観光等に活かしていきたい。

Ⅱ. 検討テーマ（地域課題）の選定について

（２）第２期中原区区民会議検討テーマ委員提案一覧表【課題分野別】

（１）防犯または地域交通環境の向上など 安全で快適な暮らしを支えるために

【自転車問題（９委員提案）】

- ・東急東横線新丸子駅周辺の放置自転車対策（川連委員）
 - ・放置自転車のみならず自転車でのマナーを徹底していく教育の拡大方法の検討（鈴木委員）
 - ・放置自転車対策について（辻委員）
 - ・武蔵小杉駅周辺の公共駐輪場不足、自転車利用者のマナーアップを啓発する（松本委員）
 - ・自転車走行時のマナーについての検討（矢野委員）
 - ・自転車マナーアップ運動の取り組みについて（吉房委員）
- ほか３委員による提案

【地域防災（４委員提案）】

- ・災害時の防災、減災及び要援護者支援のネットワークをどう進めていくか（杉野委員）
- ・防災、避難所運営について（竹井委員）
- ・災害時一人も見逃さない運動について（富岡委員）
- ・学校校舎の耐震及び災害時の避難所としての使用における課題について（松原委員）

【安全・安心のまちづくり（１委員提案）】

- ・犯罪予防について（安全安心のまちづくり）（富岡委員）

（５）産業の振興、都市拠点の形成など まちの活力を高めるために

【企業の社会貢献（１委員提案）】

- ・企業の社会貢献と地域社会の在り方（宮本委員）

（２）福祉の推進、健康の増進など 幸せな暮らしを支えるために

【健康づくり（１委員提案）】

- ・地域でのスポーツ、健康づくり（宮本委員）
- ・高齢者の健康生活をどう支えるか（宮本委員）

（３）子育て、教育など 人を育て心をはぐくむために

【子どもの健全育成（４委員提案）】

- ・自ら考え行動もでき、やさしい思いやりがある子どもを育てたい（大下委員）
- ・小中高生の健やか育成関連（竹井委員）
- ・地域の子どもの健全育成について（富岡委員）
- ・子どもの健全育成（ほめることによる育成など）（芳賀委員）

【子育て支援（３委員提案）】

- ・子どもたちがのびのび安心して遊べる場所づくり（大下委員）
- ・子育て支援について（川崎市の待機児童率を踏まえた上で何ができるのか）→就業支援も含む（本目委員）
- ・認定こども園について（松原委員）

【学校との連携（１委員提案）】

- ・学校との連携交流、あいさつ運動について（富岡委員）

【子どもの安全（１委員提案）】

- ・携帯サイトの現状（被害）と対策について（松本委員）

(6) 文化または観光の振興など まちの魅力を発信するために

【多摩川の活用（2委員提案）】

- ・ 中原区の魅力スポットの掘り下げ→観光のまちとしての多摩川の活用（鈴木委員）
- ・ 多摩川、等々力緑地等の有効活用（子ども健全な遊び場を確保する為の検討）（内藤委員）
- ・ 再開発に伴う文化施設と有効活用について（内藤委員）

(4) 緑の保全、ごみの抑制など自然環境 または生活環境を向上させるために

【環境問題（3委員提案）】

- ・ 地球規模で考える温暖化対策としての環境対策（佐野委員）
- ・ 再開発に伴う環境（CO2削減）対策（鈴木委員）
- ・ 地球温暖化対策について（内藤委員）
- ・ マイはし、マイボトル、マイバックの取り組みについて（内藤委員）

【生活環境（1委員提案）】

- ・ 公園の遊具の増設、犬の飼い主のマナー、野良猫対策などについて（藤嶋委員）

(7) 地域住民組織活動、まちづくり活動 など市民自治を推進するために

【地域参加（1委員提案）】

- ・ 若い世代の地域活動参加について（本目委員）

【住民交流（1委員提案）】

- ・ 新住民との融合について（鈴木委員）

【まちづくり（2委員提案）】

- ・ 古きを大切に、新しい事も受け入れるまちづくり（大下委員）
- ・ 再開発地区の新住民とのまちづくり活動の自治を推進するために（村山委員）

(8) (1)~(7) 以外の課題および区の特性に 応じた課題など

【小杉駅周辺再開発（5委員提案）】

- ・ 小杉駅周辺の大規模マンションの入居に伴う人口の増加やまちの環境問題、マンションライフなど、課題の多様化によるニーズの把握について（佐野委員）
- ・ 再開発に伴う環境（CO2削減）対策（鈴木委員）
- ・ 再開発に伴う諸課題の検討と対策について（内藤委員）
- ・ 再開発に伴う文化施設と有効活用について（内藤委員）
- ・ 再開発地区の新住民とのまちづくり活動の自治を推進するために（村山委員）
- ・ 高層マンションにおける災害対策（横川委員）

【その他】

- ・ 第1期の課題解決のその後について（佐野委員）
- ・ バリアフリーのまちづくり（鈴木委員、辻委員）
- ・ 環境教育、歴史教育の場としての中原区の位置づけ（鈴木委員）
- ・ 日本独自の「もったいない」を实践する生き方について（内藤委員）
- ・ 区役所の異なる無駄をなくす対策の検討（内藤委員）
- ・ 中原区の影（自殺問題・いじめ問題・犯罪等）の部分の再確認と対策について（内藤委員）
- ・ 全世代における仕事と生活の調和の推進についてできること（本目委員）
- ・ ユニバーサルデザイン（富岡委員）
- ・ 就業者の育児休業（矢野委員）

Ⅲ. 検討テーマ（地域課題）の審議と取り組みにつ

- 1. 検討テーマ①「地域で取り組む放置自転車問題」
- 2. 検討テーマ②「これからの地域コミュニティを考える」

1

検討テーマ①「地域で取り組む放置自転車問題」

（1）現状及び課題の把握

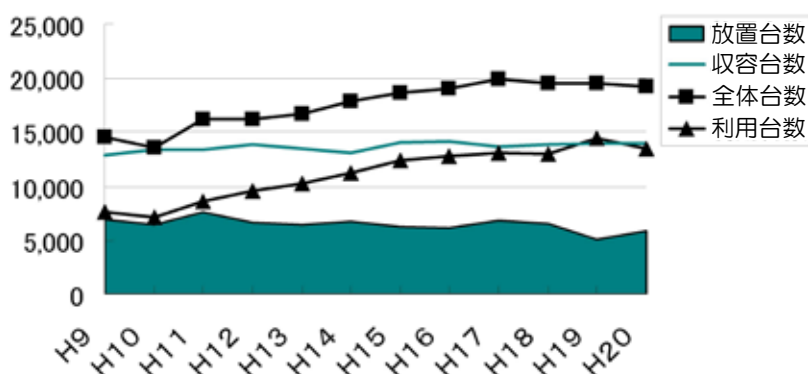
平成20年10月9日に開催された第2回区民会議では、区内の放置自転車の現状を把握し、地域で課題解決に向けて取り組む団体やその活動を紹介するとともに、「なぜ、放置自転車が多いのか」「放置自転車を減らすためにはどうすればよいのか」などについて検討を行いました。

■ 中原区の現状

中原区は地形が平坦であることから自転車の利用が多く、鉄道駅周辺の放置自転車が多く見られます。道路上などに駐輪された自転車によって、歩行者の通行を妨げられ安全性を阻害され、救急車などの緊急車両の進入に支障が生じるなど、大きな課題となっています。現在、こうした現状の改善のため、地域、行政が連携して駐輪場利用の呼び掛けや自転車利用者へのマナー啓発向上の活動により成果を上げていますが、小杉駅周辺の再開発事業などにより人口の増加が予想されるため、今後も継続的な取り組みが必要です。

市の自転車対策室が実施する「放置自転車等実態調査」によると、区内の自転車台数は過去10年で32%増加して、平成20年度には20,000台近い台数になっています。駅周辺の駐輪場の利用率も年々上昇しており、10年前と比較して90%増加、収容台数に対する駐輪場の利用率は100%近くに

■表1 中原区の自転車利用・放置・収容状況



なっています。これらの数値からは、放置自転車対策や駐輪場利用促進の取り組みの成果が伺えますが、放置自転車の台数は10年前と比較して9%減少しているものの、依然として約5,800台あります（表1参照）。

また、放置自転車は駅によって状況が異なり、必ずしも駐輪場が不足していることが理由ではない場合もあり、必要な対策も一様ではありません。

今後はそれぞれの駅周辺や地域の状況に応じた取り組みや対策が求められます。

(2) 地域の取り組み事例



自転車と共生するまちづくり委員会の活動

「自転車と共生するまちづくり委員会」とは区役所と行政が一緒になって、武蔵小杉駅周辺をモデル地区として、自転車と歩行者がお互いに尊重しあい安全に安心して通行できるまちづくりについて検討、活動している委員会です。

(主な活動内容)

■ 呼び掛け活動の実施

駅から離れた場所には空いている駐輪場があることから、駅周辺に立ち、自転車利用者に対し、空いている駐輪場への利用を呼びかける活動を継続的に行っています。

■ 駐輪場のPR活動

駐輪場の位置を示したマップを作成し、駅周辺に掲示し、駐輪場のPR活動を行っています。

■ マナー・ルールの啓発

マナー・ルールのパンフレットやポスターを作成し、配布や掲示を行っています。

町内会など地域活動団体による活動

(1) 小杉町二丁目町内会

- 自転車マナーアップのチラシの配布
- 町内会児童に啓発グッズ(バッジ)の配布
- 子ども会保護者を対象にした自転車マナーの勉強会の開催



▲自転車利用マナーアップキャンペーンの様子(自転車と共生するまちづくり委員会)

(2) 新城中央町内会

- 自転車利用者への声かけ活動
- 自転車マナーアップキャンペーンの実施

(3) 特定非営利活動法人 小杉駅周辺エリアマネジメント

- 武蔵小杉駅南口周辺での自転車利用マナー啓発・声かけ等の誘導、放置自転車整理(市の自転車等放置防止対策業務)

▶放置自転車禁止の呼び掛け活動の様子(武蔵新城駅前の商店街)



Ⅲ. 検討テーマ（地域課題）の審議と取り組みについて

■ 区民会議委員による意見交換

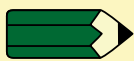
会議では、区内の課題の現状や地域における取り組み事例を踏まえて、区民会議委員による課題解決に向けた意見交換が行われました。

【主な意見】

- PTA 活動を有効に活用して、啓発活動していきたい
- 放置自転車は、自動車の駐車違反と同じ取り扱いを考えたほうがよいのではないか
- 小学生が描いたマナーアップのポスターを、放置自転車の前に貼ったらどうか
- 単に駐輪場が増えればよいということではなく、自転車の乗り方、止め方のマナーも悪いのでモラル的な教育も必要である
- 健康のためにも歩いて出掛けることは必要である。そういう運動も必要ではないか。
- モラル、マナーの問題は子どものころからの教育が大事である
- 自転車の罰則をもっと強化して、自動車の駐車違反のように鍵をつけて走れなくするようにしたらどうか
- お祭りなどでマナー啓発イベント・キャンペーンを行うのはよい方法だと思う
- 学校、町内会・自治会で徹底、促進するのが一番よいと思う
- 放置禁止区域もかなり昔から指定されているにも関わらず、理解されていない。
- 健康のために歩くといったキャンペーンをいかに区民会議としてやっていくかが、今我々が一番すぐにできることである。まず行動してみることが大切である。



▲ 武蔵小杉駅周辺の放置自転車の様子



区民会議メモ③

試行の区民会議の取り組み成果について

平成17年度に開催された「試行の区民会議」においても、地域課題のひとつとして「放置自転車問題」が議論されました。この会議では、自転車と共生するまちづくり委員会からの活動報告と中原区役所地域振興課から区内各駅における委託による自転車整理と誘導を中心に区及び市の取り組み状況について説明を行ない、会議をきっかけにして、武蔵中原駅や武蔵新城駅周辺における地域の放置自転車問題の取り組みが始まりました。

■ 会議後の武蔵中原駅周辺の対応

- 武蔵中原駅周辺では、新たな放置自転車問題への対応組織として放置自転車対策連絡会を設立し、放置自転車問題の解決に向けた対策に取り組んだ。
 - 交通安全運動と合同のキャンペーンを駅前で行い、「私はルールを守ります」とプリントした自転車の前かごカバーと駐輪場マップを配布し、駐輪場の利用を呼び掛けた。
 - (株)日本信号機材のご厚意により、駅通路（改札外）の路面に放置禁止サインを施工していただいた。
 - アルカード武蔵中原店では、店舗の出入口等に駐輪場案内表示を設置した。
 - 中原区役所で、駅通路に放置自転車を防止するためのカラーコーン類を設置した。
- などの対策の相乗効果によって、放置自転車の大幅な減少が図られた。



▲ 対策前の武蔵中原駅通路



▲ 対策後の武蔵中原駅通路（H17）

■ その後の武蔵中原駅（平成20年度）



現在の武蔵中原駅改札口前の様子
平成17年度の取り組みは、現在も継続しており、路面の放置禁止サインとカラーコーンの設置によって、現在も駐輪がありません。



Ⅲ. 検討テーマ（地域課題）の審議と取り組みについて

（２）課題解決に向けた取り組みの検討

第2回区民会議後に、課題解決に向けた具体的な取り組みを検討するために、課題調査部会を開催しました。2回にわたり開催された課題調査部会では、課題の現状認識を深め、現状に対応した効果的な取り組みについて検討を行い、「放置自転車の解決に向けた具体的な取り組み事項」をまとめました。

① 第1回課題調査部会（平成20年度11月7日開催）の審議

第1回課題調査部会では、検討テーマである放置自転車問題の現状や対策について認識を深め、現状に対応した効果的な取り組みについて検討を行いました。

<中原区の放置自転車対策の現状について>

1 一般的な放置自転車対策

ハード面：駐輪場整備、撤去活動

ソフト面：マナー等の啓発活動、料金制度などのシステム整備

2 放置自転車について

●「放置自転車」の共通認識は得られているか

⇒「放置」の概念が人によって様々

⇒条例では、「自転車等の利用者が、当該自転車等から離れているため直ちに当該自転車等を移動することができない状態…」

●データから見た特性

⇒駐輪場の利用台数が増える一方で放置台数はほぼ横ばい

「駐輪場に費用を掛けたくない」「遠い駐輪場は利用しない」⇒固定層

3 撤去活動

●撤去活動開始当初のターゲット

⇒主に、朝の通勤通学者の放置自転車

●時間帯による放置状況データから見ると

⇒午前10時を過ぎたあたりから増える

●昼以降に増えていく放置自転車をどうするか

●街なかからすべての自転車を追放するべきか

●撤去は根本的な解決にはならない

⇒対症療法としては必要だが、反感による市民

対行政の対立構造を生む・規範意識の確立が有効

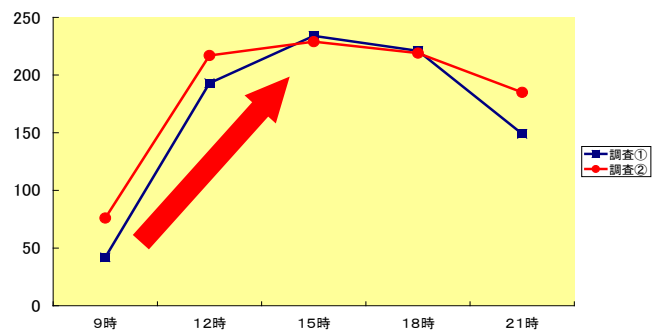
4 今後の課題

●通勤通学者を想定した対策は、一定の成果。今後は買い物客を想定した対策をどうするのか。

●広報・啓発・キャンペーンや新システム導入などのソフト路線への転換

●市民、町内会、店舗、商店街、企業との連携・協働による規範意識の向上

時間帯別放置自転車台数(D地点)



平成19年度武蔵小杉駅周辺地域放置自転車数調査
(自転車と共生するまちづくり委員会)
(イトーヨーカ堂前の通り)

② 第2回課題調査部会（平成20年度11月27日開催）の審議

第2回課題調査部会では、放置自転車問題の課題解決に向けた「具体的な実行方法」「実行主体」「実行時期」について意見交換を行いました。

<放置自転車問題の解決に向けた取り組みについて>

1 取り組みの方向性

- 自転車利用者へのマナー・モラル啓発
→ 町内会、自治会、地域団体を通じた啓発
→ 子どもや若い世代に向けた啓発

- 商店街における取り組みの促進

2 取り組みの内容（地域）

- 自転車利用者に対するマナー・モラル啓発活動

（1）町内会・自治会をはじめとした地域によるマナー・モラル啓発活動を促進

- ① 啓発用チラシ等を各戸回覧やポスター掲示についての協力依頼
- ② 会合などでマナー・モラル啓発活動をアピール（説明者の派遣）

（2）区民会議委員の出身団体におけるマナー・モラル啓発活動の促進

- ① 啓発用チラシを団体会合で配布してアピール（説明者の派遣も）
- ② その他独自の取り組み

（3）若い世代に向けた啓発活動の実施

- ① コンサート等のイベントの場を活用して啓発チラシを配布
- ② ホームページなどの電子媒体の活用

- 駅周辺の商店街における放置自転車対策の取り組み促進

- ① 新丸子駅周辺商店街をモデル地区として、放置自転車対策を促進
- ② 商店街における放置自転車対策例などの情報提供

- 地域における放置自転車対策の取り組みとの連携

- ① 必要な物品の貸与
- ② 放置自転車撤去活動の連携
- ③ 交通安全キャンペーンと連携して区民会議の取り組みをアピール

- 再開地区における新駐輪場利用促進キャンペーン等の実施予定

- 小杉駅周辺再開地区をモデル地区として自転車利用者動向調査の実施を検討

3 その他の課題

- 自転車利用者のための環境整備
- 駅から離れた場所への駐輪場設置
- 自転車に代わる交通手段の検討
- 区民会議で取り上げた課題解決の取り組みの窓口となる組織の検討

Ⅲ. 検討テーマ（地域課題）の審議と取り組みについて

（３）課題解決に向けた取り組み事項

1月20日に開催された第3回区民会議では、課題調査部会における審議を受けて、「放置自転車問題の解決に向けた取り組み事項」をまとめました。今後は、これらの取り組み事項に基づいて、区民会議委員と地域団体、区役所をはじめとする行政がそれぞれの役割に応じて課題解決に向けた取り組みを実践していきます。（P 18～21 参照）

検討テーマ「地域で取り組む放置自転車問題」の取り組み事項

	取り組み内容	具体的な実行方法	
地域・区民・区民会議の取り組み	自転車利用者に対するマナー・モラル啓発活動	（１）町内会・自治会をはじめとした地域によるマナー・モラル啓発活動を促進	①啓発用チラシ、ポスターを作成し、中原区町内会連絡協議会を通じてチラシの各戸回覧やポスター掲示について協力を依頼する。 ②中町連、各町内会・自治会の会合等でマナー・モラル啓発活動をアピールする。必要に応じて、説明者（講師）を派遣する。
		（２）区民会議委員の出身団体におけるマナー・モラル啓発活動の促進	①啓発用チラシを各団体の会合などで参加者に配布する。必要に応じて、説明者（講師）を派遣する。 ②その他団体独自の取り組み
		（３）若い世代に向けた啓発活動の実施（例えばホームページなどの電子媒体の利用）	子どもや子育て世代に関連の深い団体を通じて啓発用チラシを会合などで参加者に配布する。必要に応じて、説明者（講師）を派遣する。
	駅周辺の商店街における放置自転車対策の取り組み促進		コンサート等のイベントの場を活用して、啓発チラシを配布する。
			ホームページなどの電子媒体を活用した啓発活動
		新丸子駅周辺商店街をモデル地区として、商店街における違法駐輪対策を行っていく。 その後、順次、他の商店街に展開していく。	
		<商店街における放置自転車対策例> ○駐輪場を利用することによる商店街での割引制度などの導入 ○店舗前の簡易駐輪スペースの設置 ○「買物中」札の交付による短時間駐輪の容認	



実行主体 (協力依頼団体)	実施スケジュール				
	21年2・3月	4～6月	7～9月	10～12月	22年1～3月
各町内会・自治会 中原区町内会連絡協議会	取り組みの実行	→			区民会議で取り組み報告・検証
各団体	取り組みの実行	→			区民会議で取り組み報告・検証
各団体	取り組みの実行（時期未定・随時）				区民会議で取り組み報告・検証
イベント実施団体	取り組みの実行（時期未定・随時）				
(実行主体の検討が必要)	取り組みの実行（時期未定・随時）				
丸子地区商店街連合会 中原区商店街連合会	取り組みの実行	→			区民会議で取り組み報告・検証
今後の、商店街と行政等の連携による対策を推進するための参考意見として中原区商店街連合会に提示する					

Ⅲ. 検討テーマ（地域課題）の審議と取り組みについて

	取り組み内容	具体的な実行方法
行政の取り組み	地域における放置自転車対策の取り組みとの連携	①地域における自主的な放置自転車対策やマナー・モラル啓発活動に必要な物品の貸与 ②放置自転車への警告札貼付などの取り組みと放置自転車撤去活動の連携 ③交通安全安全キャンペーンと連携して区民会議の取り組みをアピール
	小杉駅周辺再開発地区をモデル地区として、駐輪場への的確な誘導と利用促進キャンペーンの実施を検討	小杉駅周辺再開発地区における放置自転車を未然に防ぎ、平成22年3月開業予定のJR横須賀線武蔵小杉新駅前広場に設置される新駐輪場への適切な誘導を行うことを目的として、新駐輪場開設前後に啓発チラシの配布や放置自転車への警告札を貼るなど、放置自転車禁止及び駐輪場利用促進の広報・周知を実施する。
	小杉駅周辺再開発地区をモデル地区として、自転車利用者動向調査の実施を検討	効果的な放置自転車対策を検討することを目的に、小杉駅周辺をモデル地区として、時間帯別、地区別の放置自転車台数や自転車利用者の動向についての調査実施を検討する。
その他の課題	自転車利用者のための環境整備	車道、歩道等、自転車利用に必要な道路及び標識等の整備
	駅から離れた場所への駐輪場設置	駅から離れた場所への駐輪場設置
	自転車に代わる交通手段の検討	コミュニティバスなど新たな交通手段の検討
	区民会議で取り上げた課題解決の取り組みの窓口となる組織の検討	区民会議で取り上げた課題解決の取り組みの窓口として中原区町内会連絡協議会や中原区商店街連合会など区内の各団体に参加を呼びかけ、地域の実務担当者の代表者で構成された「地域課題連絡協議会」（仮称）を設置

実行主体 (協力依頼団体)	実施スケジュール				
	21年2・3月	4～6月	7～9月	10～12月	22年1～3月
中原区役所	取り組みの実行(時期未定・随時)				
中原区役所	取り組みの実行(時期未定・随時)				
中原区役所	取り組みの実行(時期未定・随時)				
中原区役所	取り組みの実行(新駅開業時期)				
中原区役所	区民会議で取り組み報告・検証				
今後のまちづくり や、道路整備及び 交通体系整備事業 の参考意見とする					
(実施主体の検討が 必要)					

Ⅲ. 検討テーマ（地域課題）の審議と取り組みについて

（４）地域の取り組み事例

区民会議で解決に向けた取り組みについて議論している放置自転車問題について、試行的に解決に向けた取り組みを実践している区民会議委員もいます。そうした活動のうち、3つの事例をご紹介します。

小杉町2丁目町内会



子ども会保護者と自転車利用
マナー勉強会を開催

小杉町二丁目町内会では、地域における自転車の交通事故防止と安全利用の推進を図るために、自転車利用者の交通ルール遵守とマナー向上に関する様々な活動を行っていましたが、平成20年12月に、マナー向上を呼

びかける大型ポスター8基を武蔵小杉駅近くの民間集合住宅の外周フェンスに設置して、通勤通学で行きかう人々に自転車のマナー向上を広く呼び掛けています。



自転車利用時のマナー
やルールに関するイラストや
標語が書かれています

区PTA協議会と 自転車と共生するまちづくり委員会



区内における放置自転車の問題
について説明する芳賀委員

中原区PTA協議会では、放置自転車問題について理解を深めるために同協議会の会合で説明会を実施しました。説明会の講師は、

放置自転車問題に関して地域で様々な活動をしている自転車と共生するまちづくり委員会の委員長である芳賀委員が行いました。この説明会では、放置自転車問題の現状や自転車利用者のマナーについても話がおよび普段何気なく使っている自転車について考えるきっかけとなったようです。

この説明会をきっかけに、今後も各学校からの依頼や要望があれば応じていく予定です。

丸子地区商店街連合会

丸子地区商店街連合会では、同連合会の商業活動の中心にある東急東横線新丸子駅周辺に放置された自転車に警告チラシを貼る独自の放置自転車対策の取り組みを始めました。取り組みを推進しているのは同連合会会長であり区民会議委員でもある川連委員です。川連委員は新丸子駅周辺の歩道に放置された自転車が歩行者の通行の妨げになっていることに以前から気にかけていましたが、区民会議で地域のボランティア活動として放置自転車対策に取り組んでいる人たちの姿を見て、自らも活動を行おうと思い立ちました。

- 実施日数 平成20年12月（4回）
平成21年1月（1回）、
2月（4回）、3月（4回）
いずれも午後3時半～4時

- 場 所 新丸子駅周辺
- 参加者 丸子地区商店街連合会、
新丸子駅周辺の商店街会長及び
役員6名

- 活動内容
- ①新丸子駅周辺の活動区域に啓発用のぼり旗5本（地域振興課貸与物品）を設置する。
- ②対象区域に放置された自転車に、警告チラシをホッチキスで貼付する。



※本活動は自転車放置の抑止効果を高めるために、試行的に放置自転車撤去活動と連携して実施しています

活動は、平成20年12月から1週間に1回程度、平成21年度3月末までに13回行いました。駅前の歩道など交通の妨げになっているところなどを重点的に放置された自転車に警告札を貼り、市の放置自転車撤去活動と時機をあわせることにより、警告の効果を高める工夫をしています。



活動日当日と活動後（翌日）の様子 いずれも午後4時頃撮影



▲12月11日
（活動日当日）の状況



▲12月12日（活動日翌日）の状況

2

検討テーマ②

「これからの地域コミュニティづくりを考える」

（１）現状及び課題の把握

平成21年3月19日に開催された第4回区民会議では、「これからの地域コミュニティづくりを考える」を新たな検討テーマとして、地域の活動事例をビデオ資料で紹介、法政大学大学院政策創造研究科教授（川崎市都市型コミュニティ検討委員会委員長）の武藤博己氏による講義などを参考に、地域での人と人とのつながりを深めていくため、地域の様々な課題を解決する「地域の力」を高めていくためには、どのような取り組みや活動が有効であるかということについて検討を行いました。

■ ゲスト講義「コミュニティを考える視点」



川崎市の「地域コミュニティ」が抱える課題と現状について理解を深めるため、川崎市都市型コミュニティ検討委員会の委員長でもある法政大学大学院教授の武藤博己氏による講義を行いました。

法政大学大学院政策創造研究科教授

武藤 博己氏

（川崎市都市型コミュニティ検討委員会委員長）

- 地域におけるコミュニケーションの場所（地域のおしゃべりの場、昔の井戸端会議のような場）が減ってきている。
- 地域活動の人材には、すでに活動している人、まだ活動に参加していない人に分けられる。すでに活動している人はそれを継続すること、また、新しい人を迎えるためには、気軽に参加できるお祭りなどもきっかけとなりえる。
- コミュニティの力を高めるには、人と人との絆を強めることが必要である。また、地域の問題（例えば、防犯など）を共有することができるとコミュニティ力の強化に繋がりやすい。さらに、「熱意」も必要である。「熱意」は人から人へと伝播されるので、コミュニティの力を継続していくことができる。

■ 地域の活動事例

井田協友会

■ 団体概要

井田協友会は戦後間もない昭和26年、犯罪などが横行していた地域の安全を守ろうとする住民同士の取り組みをきっかけとして発足しました。地域は中原区井田三舞町と井田杉山町にまたがり、約600世帯が加入している町内会です。

■ 活動拠点

井田協友会の地区のほぼ中心にある井田杉山町公園（約1200㎡）は、町内会活動の拠点として、自主防災組織による防災訓練、地域交流のためのフリーマーケットやお祭り、子ども会や老人会などの日常活動が行われています。また、公園の清掃を通じて、地域の人々の交流を図るという効果も得られています。

■ 活動の特徴

井田協友会は、町内会としては比較的規模が小さく、発足当時から地区内に企業の社宅が多くあり、住民間のまとまりや連帯意識が強いという特徴がありました。この連帯意識は現在も受け継がれ、井田杉山町公園を地域による自主的な維持・管理で行ったり、同地区内のマンション建築などの開発行為に対して地区全体のまちづくりの視点から開発業者等との調整をはかるために「井田みすぎ地区まちづくり協議会」を立ち上げるなど、自主的なまちづくりに取り組んでいます。

■ 活動場所



▲ 井田杉山町公園

■ 活動の様子

▶
フ
リ
ー
マ
ー
ケ
ッ
ト



▶
防
災
訓
練



Ⅲ. 検討テーマ（地域課題）の審議と取り組みについて

■ 地域の取り組み事例

特定非営利活動法人 グループリビング川崎 (COCO 宮内)

▶ ガーデン桜式番館（外観）



■ 団体概要

グループリビング川崎は、高齢者住宅「COCO宮内」の入居者が自らのことを主体的に決め、お互いに助け合って暮らしていく、それを地域が様々な形でバックアップしていくというグループリビングの暮らし方を広めていくことを目的に設立され、高齢者のグループリビングである「COCO 宮内」の運営支援等を主な活動として行っています。

■ 活動拠点

グループリビング川崎の活動拠点は、多機能住宅として建設された「ガーデン桜式番館」です。ここでは、理事長である原眞澄美さんが、自身の親の介護の経験から、高齢者の自立的、主体的な暮らし、仲間との共生、地域とのふれあいができる施設をつくりたいという思いに賛同した人たちとともに作られました。

■ 主な活動内容

- グループリビング「COCO 宮内」の入居者の生活支援・イベント開催の支援を行っています。
- 入居者と地域の人々との交流の場、アトリエ 21（趣味の教室）の運営を行っています。
- ★ 併設されている地域の憩いの場として「カフェ BE BORN」、小学校低学年児童を放課後預かる「宮内こども教室」、デイサービスによる「パワーリハビリテーション」、「ピアノ教室」とも連携をとって協力して活動しています。



▲「カフェ BE BORN」



▲「COCO へ行こう」

■ 地域の取り組み事例

地域ふれあい “つきやまサロン”



▲旧西丸子幼稚園

■ 団体概要

閉園された幼稚園の教室を活用して、0歳児から高齢者までが参加する自主活動を行っている地域の相互ボランティア活動団体です。活動内容は心身の健康づくりから趣味、防犯・防災にいたるまで幅広く、「地域ふれあい拠点」として、住みよいまちづくりを目指して地域に参加を呼び掛けています。

■ 活動拠点

つきやまサロンの活動拠点は、西丸子小学校の敷地内にある閉園された旧西丸子幼稚園の教室です。同幼稚園の保護者OB会から発展したつきやまサロンは、閉園された幼稚園の教室を地域の協力を得ながら地域交流の場として活用しています。小学校の敷地内にあるため、生徒との交流も盛んです。

■ 活動の特徴

つきやまサロンの合言葉は「相互ボランティア」です。つきやまサロンの様々な自主活動（太極拳、絵手紙、エコ手芸、折り紙アート、小林グライダーなど）は講師も生徒も同じ地域の人々です。地域の人々がそれぞれの得意分野を活かして講師を務めて相互に教えあっています。

また、平成19年度には、高齢者が地域でいきいきと暮らすための介護予防事業のひとつの「すこやか活動」にも認定されるなど、地域団体と連携・協力を深めながら活動を行っています。

■ 活動の様子



▲折り紙アート



◀小林グライダー教室



Ⅲ. 検討テーマ（地域課題）の審議と取り組み

■ ゲスト紹介

第4回区民会議では、地域の活動事例としてビデオ資料で紹介した「特定非営利活動法人 グループリビング川崎」と「つきやまサロン」の代表者の方々にゲストとして出席していただきました。

特定非営利活動法人 グループリビング川崎
理事長 原 眞澄美氏



地域ふれあい “つきやまサロン”
遠藤 敦子氏

ゲスト発言（ビデオ資料のコメントから）

- 原 「ここ（COCO宮内）がみんなの寄りたい場所になることが大事だなということを感じています。ここにくるとみんなに“あなたが来てくれてよかった”といわれる、その人にとって居心地が良い場所であれば、と思っています。」
- 原 「（COCO宮内で活動するスタッフには）時計の文字盤のようにみんな同じ力で支えあいましょうと言っています。それぞれの人がそれぞれの能力を出し合って、一個の大きな家族、力のある地域になっていければいいと思っています。ただこのことは、最初から目掛けてやってきたわけではなく、5年、6年と続けてきて、最近になってそれが可能かなと、感じるようになってきました。」
- 遠藤 「つきやまサロンでは、とにかくみんなで楽しんで好きなことをやるのが大事。サロンに参加する人たちがオールスタッフという形でやってますので、いつの間にかそれぞれの分野で先生と呼ばれる人が出てきたりして、みんな楽しんでやっています。」
- 遠藤 「今後は、子どもたちとの交流を通して、若い世代の方々との交流に発展させられるようになればいいなと思っています。」

(2) 課題解決に向けた取り組みの検討

■ 区民会議委員による意見交換

会議では、地域における取り組み事例を踏まえて、区民会議委員による課題解決に向けた意見交換が行われました。

<主な意見>

- コミュニティには、拠点となる場所、財源、人などの論点があるが、できるだけ小さな単位（地域）でいろいろな意見が言い合えるところというイメージがある。また、井田協友会の例を見ると、公園を拠点としているので、拠点を維持する財源の問題があまりないよい事例ではないか。
- 地域活動は常に住民の目線で、住民のために何ができるかを考えて行う必要がある。隣近所が常日頃仲良くすることはもちろんであるが、地域活動を支える町内会と民生委員や社会福祉協議会などの地域団体と協力していれば災害などにも対応することができる。
- 地域のコミュニティを考える上で大事なものは、①人材、②場所、③資金、④時機（タイミング）、⑤情報である。
- 若い人の地域活動への参加を、社会として必要と考えるならば、若い人の参加を阻んでいると考えられる要因（お金、気持ち、時間に余裕がないなど）を解決するために社会としてもサポートする必要があるのでは。
- 具体的な地域の問題（災害発生）について課題意識が共有化できれば、若い人の地域参加も進むのでは。
- 町内会で活動する人の高齢化が進んでいる。これは町内会が閉鎖的であったことも原因になっているのでは。若い人に町内会に入ってもらうような努力が必要ではないか。
- 「コミュニティ＝（イコール）町内会」ではない。「コミュニティ」はだれでも気軽に参加できるようなものでなければならぬと思う。
- 地域にはすでにコミュニティはいろいろなところにある。学校、地域、行政、社会福祉協議会などのつながりもあるので、こうしたつながりを有効に活用していけばよいのでは。
- コミュニティの場としては、町内会会館なども活用できるのでは。
- コミュニティに入りたくても入れない人もいる。小杉駅周辺再開発地区などでは周囲に干渉されたくない人が多いと聞いている。そうしたことも課題ではないか。
- 地域活動は「情熱」で99%決まるといってもいい。肩書きなどなくても情熱が必要である。

会議の議論は、平成21年度に開催予定の課題調査部会に引き継いで、課題解決に向けた具体的な取り組みについて検討を行うこととなりました。

平成20年度中原区区民会議開催の記録

■ 中原区区民会議

回数	日時・議題	委員・参与 出席状況	傍聴人数
第1回	平成20年7月16日(水) PM2:00~4:30 議題「第2期中原区区民会議で取り上げる 検討テーマについて」	委員:16人 参与:7人	11人
第2回	平成20年10月9日(木) PM6:30~8:54 議題:「地域で取り組む放置自転車問題」 	委員:17人 参与:9人	40人
第3回	平成21年1月20日(火) PM2:02~3:59 議題:「地域で取り組む放置自転車問題」 	委員:18人 参与:7人	9人
第4回	平成21年3月19日(木) PM3:15~5:40 議題:「これからの地域コミュニティ づくりを考える」	委員:20人 参与:5人	5人

■ 専門部会

(1) 運営部会

回数	日時・議題	委員 出席状況
第1回	平成20年8月5日(火) PM4:00~5:34 議題「第2回中原区区民会議の検討テーマ 及び今後の検討テーマについて」	6人
第2回	平成20年12月9日(火) PM4:00~5:07 議題「第3回中原区区民会議の運営について」 「第4回中原区区民会議の運営について」	6人
第3回	平成21年3月9日(月) PM4:00~5:00 議題「第4回中原区区民会議の運営について」	6人

(2) 協働推進事業検討部会

回数	日時・議題	委員 出席状況
第1回	平成20年9月17日(水) PM3:00~5:00 議題「平成19年度 中原区協働推進事業評価について」 「平成21年度 中原区協働推進事業について」	6人

(3) 課題調査部会

回数	日時・会場	委員 出席状況
第1回	平成20年11月7日(金) PM4:00~6:00 議題「課題調査部会の進め方について」 「課題解決に向けた方策の検討」	7人
第2回	平成20年11月27日(火) PM2:00~3:50 議題「第1回課題調査部会を振り返って」 「課題解決に向けた方策の検討」	7人

第2期中原区区民会議委員名簿

氏名	選出区分	団体名等	運営部会	協働部会	課題部会 (自転車)	課題部会 (コミュニティ)
大下 由美子	団体推薦	中原区 PTA 協議会			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
川連 昌久	団体推薦	中原区商店街連合会		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
佐野 愛子	公募委員			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
杉野 茂彦	団体推薦	中原区民生委員児童委員協議会				<input type="checkbox"/>
○ 鈴木 眞智子	団体推薦	とどろき水辺の楽校	○			
○ 竹井 斎	団体推薦	中原区まちづくり推進委員会	<input type="checkbox"/>			◎
辻 正人	団体推薦	中原区子ども会連合会				
富岡 茂太郎	団体推薦	川崎市中原区社会福祉協議会		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
内藤 幸彦	公募委員					<input type="checkbox"/>
芳賀 誠	区長推薦	自転車と共生するまちづくり委員会	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
◎ 藤枝 重之	区長推薦	第1期中原区区民会議副委員長	◎			
藤嶋 とみ子	団体推薦	中原区文化協会	<input type="checkbox"/>			
本目 さよ	公募委員			<input type="checkbox"/>		
松原 清一	団体推薦	中原区自主防災組織連絡協議会		○		
松本 玲子	団体推薦	中原区子育て支援推進実行委員会			<input type="checkbox"/>	
宮本 良彦	団体推薦	中原地区連合				
村山 十九男	公募委員				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
矢野 和昭	団体推薦	川崎中原工場協会				
横川 郁子	区長推薦	第1期中原区区民会議委員長		◎		
吉房 正三	団体推薦	中原区町内会連絡協議会	<input type="checkbox"/>			○

※◎は委員長、○は副委員長／部会欄の◎は部会長、○は副部会長、□は部会員

中原区区民会議参与（50音順）

川崎市議会議員

氏名	会派
市古 映美	共産党
潮田 智信	民主党
大庭 裕子	共産党
清水 勝利	自民党
志村 勝	公明党
立野 千秋	民主党
原 修一	自民党
東 正則	民主党
松原 成文	自民党
吉岡 俊祐	公明党

神奈川県議会議員

氏名	会派
滝田 孝徳	民主党・かながわクラブ
田島 信二	自民党
徳安 久是	ルネッサンス21